

市議会報

# 大野

No. 46

発行 大野市議会

TEL 6-1111

(内線 303)

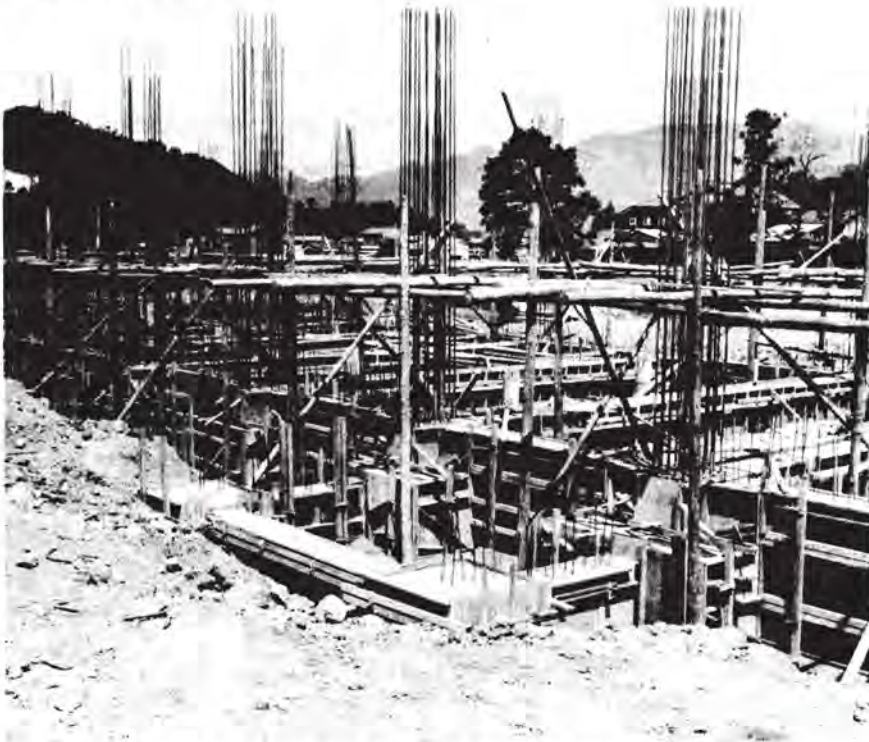
印刷 松浦印刷

## 6月定例市議会

### 休日急患診療所・保健センター新築 工事請負契約など15議案を可決・承認

#### 一般会計に1億6,154万円追加

第194回定例市議会は、6月22日招集され、会期を29日までの8日間と定め、理事者から提出の議案15件を慎重に審議しました。その結果、昭和56年度一般会計補正予算など全議案を賛成多数で可決・承認しました。また市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおり決め、最終日には議員提案による「昭和56年産生産者米価と米穀政策に関する意見書」など5件を可決して29日閉会しました。



来春完成を目指す休日急患診療所・保健センター

暑中お見舞申しあげます

大野市議会議員一同

### 6月定例会審議日程

- 22日 本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）
- 24日 本会議（一般質問、各案件委員会付託）
- 25日 委員会（産業経済・建設）
- 26日 委員会（教育民生・総務）
- 29日 本会議（各委員長報告、質疑・討論、採決意見書・決議案上程、採決）

# 市政をきく 一般質問

## 保健センターの管理、運営 について 「機能回復訓練室の規模は、

問 来春完成予定の保健センターに設置する機能回復訓練室は、どの程度のものか。

答 訓練室は約37㎡、保健指導に利用する程度のもので、障害者のための本格的な施設ではない。本格的な機能回復訓練室の設置は、法的には20万都市または特別区に限るとされており、本市が事業主体で設置することは難しい。建設するとなれば、社会福祉法人等の施設として設置していく方向で検討したい。

問 センターの管理、運営に関し人員配置をどうするのか。また日曜・祝日の利用についてはどうか。

答 人員配置についてはまだ具体的に決まっていないが、センターは健

## 意見書・決議書を議決 政府関係機関へ提出

定例会最終日の6月29日に下記の意見書4件と決議書1件が上程され、慎重審議の結果それぞれ可決されたので直ちに政府はじめ関係機関に提出し、早期実現を要請しました。(本文略)

- ・昭和56年産生産者米価と米穀政策に関する意見書
- ・農業の再建・食糧自給率向上のための食糧制度の拡充に関する意見書
- ・スパイ防止法制定促進に関する意見書
- ・郵便貯金制度の存続を求める意見書
- ・自衛隊駐とん及び演習地誘致に関する決議について

康づくりの拠点として、豊富な人員により運営していくことが大切と考えている。日曜等における利用については、年間休みなくやるのが理想と思うが、平日に最善の努力をすることで、日曜等は休みたい。

## 除雪対策として 市街地への取水計画は

問 真名川用水等を直接市街地へ導入するための抜本的な処置として、水路を設ける計画を立ててはどうか。

答 取り入れ口に直結した水路を設けることについては、用地、経費、水利権等の関係から非常に難しい。市街地への取水については、真名川土地改良区連合とも十分相談して努力したい。なお、真名川水利の使用許可の更新時期が57年3月31日に迫っているので、この機会に国・県・北電等に対し強力に交渉し、何んらかの方途を見出して、市街地へ取水すべく最大限の努力をする決意である。なお現在冬場は真名川用水 3.5t (非かんがい用水として) の最大通水量を流しているが、市街地へは0.8t程度しか流れていないと推測される。市街地の融雪溝を有効に利用するには倍量の水が必要であり、その確保に尽力したい。



真名川取水口(五条方)

## 除排雪の民官協力と分担に ついての条例制定はどうか

問 雪害対策は市民の協力と理解が必要である。この対策をいま一步前進させるため、「市の責務」と「市民の責務」とを明確にした除・排雪の民官協力と分担についての条例を定める意思はないか。

答 雪害対策協議会を降雪前に開いているが、単に各関係機関との連絡調整をするだけで、市民の協力を仰ぐという点では手落ちがあったと反省している。今後除・排雪計画について市民への協力依頼等を周知徹底したい。なお条例の制定には、市民の理解と協力が必要である。十分なコンセンサスを得なければならないのでいま少し時間が欲しい。

## 執務体制について

問 人事異動後の事務処理に不手際が目立つが、どう考えるか。

答 異動後の事務引き継ぎの不徹底は十分に戒め、市民の期待にこたえるよう努力する。

## 辺地の総合整備計画 について

問 辺地の公共的施設を計画的に整備するため、辺地総合整備事業を推

進しているが、辺地の指定を受けても優遇措置がないように見受けられるが、どうか。

答 辺地の整備事業にかかる地元負担には、簡易水道、市道舗装、林道開設の3つがある。簡易水道については、現在は事業費のうち1戸当たり

3万円を控除した額の20%の補助をしているが、この控除を取りやめ、一般地域は事業費の20%、辺地は30%の補助率に改正したい。他の2つについては、57年度をメドに軽減すべく検討したい。その他辺地総合整備事業の予算化には努力したい。

### 自衛隊演習地誘致について

**問** 自衛隊は演習場不足で物色中と聞く。当市は56豪雪を契機として、自衛隊誘致の機運が醸成されつつある今日、隊誘致の足掛かりとして演習地の誘致を早急に実現すべきと思うが、どうか。

**答** 自衛隊演習場の候補地は市内に数箇所あり、気象条件にも恵まれていると思う。しかし防衛力問題等が物議をかもしている今日、特に市民のコンセンサスを得る必要がある。また議会で誘致決議をすると聞くので、これらの点を踏まえた上で努力したい。

### 越美北線の利用度について

**問** 越美北線の廃線問題以来沿線市町村が総力を挙げて「乗る運動」を展開しているが、その成果はどうか。

**答** 成果についての具体的な数字は持ち合せていない。乗る運動については、市民啓発の立て看板を用意中である。また極力利用するよう各関係機関や団体等に対して文書で依頼している。なお市の封筒には啓發文を刷り込むことなどを考えている。



### 広域大幹線農道における交通規制について

**問** 広域大幹線農道は現在全面駐車禁止になっているが、せめて片側だけでも駐車を認められないか。ちなみに、この農道新設の際に駐車禁止しないことを条件にしてあったはずだが、どうか。

**答** 県の公安委員会が指定したものを、緩めることは大変難しいと思うが、片側だけでも駐車出来るよう要望書を出したい。また条件になっていたことは事実であるから、当時の趣旨を踏まえて公安委員会と合議して検討する。

(全面駐車禁止の大幹線農道)



### 保育所保育料について 低額所得者に負担大

**問** 保育所の保育料が毎年値上げされており、特に当市は他市と比較して低額所得者階層に、厚生省基準より高い保育料を課しているのはなぜか。

**答** サラリーマンや商店経営者など業種によって課税額が平等でないのが実情。当市は共働きの家庭の入所者が多く、この場合は合算所得となるため、保育料徴収最高額をこれ以上引き上げること

### 永年勤続議員

北信越市議会議長会 } で表彰  
全国市議会議長会 }

去る4月24日長野市で開催された第56回北信越市議会議長会定期総会ならびに5月27日東京で開催された第57回全国市議会議長会定期総会の席上、市政の振興に努められた功績(議員在職10年以上)により次の方々が表彰されました。

- 高津 靖生      杉本 夏男
- 林 保信        安田 武雄
- 宮本 弘

は、高額所得者であっても負担が大き過ぎ、定員割れのおそれもあるので、保育料の平等化を図った。低額所得者については、それぞれの事情に応じて減免措置を講じている。市の義務負担外の超過負担額については

財政事情の許す限り努力したい。

### し尿処理場の投入量制限と処理能力について

**問** 当市はし尿処理場への投入量を制限しているが、撤廃してはどうか。また前処理施設、遠心分離機等が故障して処理能力が落ちていると聞くが。

**答** し尿投入は、時により1業者1日9klの原則にとらわれず、弾力的に対処している。投入量の制限は当市だけであるから、他市の実施状況等を十分調査して検討したい。遠心分離機は交代で休ませることはあっても、故障の事実はなく処理能力に支障はない。

# 委員会報告

— 各委員長報告から —

## ● 建設委員会

### ①市単道路・河川整備事業の推進

日常生活に密接した道路・河川の整備に対する市民の要望は深刻なものがあり、特に流雪溝整備については、毎回請願・陳情が数多く提出されている。確かに当初予算の段階で相当配慮されていると思うが、なお市民の切望を満たすのに十分とはいえないので、今後の補正で特段の配慮をされたい。

### ②亀山落石防止について

今冬の豪雪により亀山の南側が相当崩壊し、非常に危険な状態になっているので、十分調査のうえ、関係各課調整し危険防止のため早急に工事を施行されたい。



## ● 産業経済委員会

### ①特用林産振興対策事業について

本年より5ヵ年計画で大野市特用林産物生産組合が事業主体となり、オウレンの新植・保育事業に取り組み、市も事業費の5%補助することになっている。流通および価格については、国外からの輸入など諸条件の悪化に伴い困難な状態にあると聞く。需要の特性、生産の動向を十分に掌握し、販売ルートの確保、価格安定などについて関係機関と協議を密にして、長期安定的な振興を図る上で必要な指導・助言を行うべきである。併せて今後の林業構造改善事業の振興策についても、確たる見通しをつけて推進されたい。

### ②水田利用再編対策について

転作を円滑に推進するため集落ごとに転作推進委員会が設置され、集団転作、互助制度の協議がなされている。これらの指導に当たっては集落の実情に即した指導をされたい。



## ● 教育民生委員会

### ①教育委員会の主体性について

今日までの本会議・委員会を通じて毎回指摘されているように、教育委員会の主体性が発揮されていない。教育委員会は一般行政権から独立した職務権限を有し、極めて重要な役割を果たしている。予算の調整・執行に関しては、財政運営の一元的処理を図ることは、地方公共団体の一

体性を確保する必要上から市長の権限とされているが、一方教育に関する事務については、市長は教育委員会の意見を聞かなければならないと規定されている。教育委員会は、こと教育に関しては確固たる方針を定め、市長部局に対して強い信念で臨むべきである。この点市長部局も教育のもつ意味を十分認識し、教育委員会の主体性が十分発揮出来るよう配慮されたい。

### ②水洗便所の問題について

当市も住宅の新築に伴い水洗便所が普及し、1,500戸が設置していると聞く。しかし監督が不十分なため市民からの苦情も多く、地下水汚染につながる重大な問題である。この点監督権限のある保健所に対して強硬に申し入れされたい。根本的な解決策は下水道事業の促進以外にないので、その促進に取り組み、併せて上水道建設の推進にも一層努力されたい。

### 請 願 ・ 陳 情 審 議 結 果

採択されたもの		
区別・番号	件 名	提 出 者
請願 1	排雪溝の新設について	泉町 1 区長 岡本 公生外33名
請願 2	排水路の改修について	城町 2 区長 山 形 甚 吉
請願 3	乾側幼稚園施設整備について	乾側幼稚園 P T A 会長 小林 政一外 6 名
請願 4	食管制度拡充に関する意見書の提出について	大野市農業協同組合長 大葎原 登外 1 団体
請願 5	ため池等整備事業について	富田土地改良区理事長 米村 喜六外 1 団体
請願 6	水路の改修について	春日 1 丁目上区長 柿本 清之助外20名
請願 7	水路への増水工事について	下舌区長 桑盛 善正外14名
陳情 5	水路の改修について	高砂町 5 区長 田中 豊外 1 名
陳情 8	連隊規模の自衛隊及び演習場誘致について	大野青年会議所 理事長 横 田 征 男
陳情 9	郵便貯金の現行金利決定制度の存続と郵便貯金資金の融資改善を求めることについて	郵便を守る福井県民会議 会長 横手 文雄外 1 団体
陳情 10	市営住宅の改造方について	大野市身体障害者肢体協会 会長 安 川 龍 男
継続審査となったもの		
陳情 6	北朝鮮帰還の日本人妻の安否調査及び里帰り実現について	日本人妻自由往来実現運動の会 代表世話人 池田 文子
陳情 7	国鉄小浜線・越美北線の特別運賃制導入反対に関する意見書の提出について	県民の交通を確立する福井県民会議 会長 小 林 優